

Take Free
ご自由にお持ち帰りください

OTEMON Bridge

学生・教員・職員のためのインタラクティブ・マガジン
【ブリッジ】

Bridge OTEMON GAKUIN UNIVERSITY VOL.9



▲経営学部・村上喜都ゼミ3年生の[追手井プロジェクト]メンバー

vol. 09

発行日/2016年10月14日 発行/追手門学院 総務課広報課・学生企画広報スタッフ
〒567-0008 大阪府大阪市西淀川区2-1-15 TEL.072-614-9500 / FAX.072-614-9645 編集協力/株式会社キューベックデザイン 追手門学院大学ホームページ <http://www.otemon.ac.jp/>
【通巻47号】 ※1999年6月15日第1巻発行(当時の誌名は「OTEMON PRESS」) 2012年10月より「BRIDGE」へ誌名変更。

追手門学院大学の卒業生を訪ねて

ジュビロを強くする。それが私の最も大切な仕事。

西尾 ●ジュビロの社長の役割について教えてください。
木村 ●大きな方向性として、「リーグと日本サッカー協会の使命である「日本サッカーの水準向上および普及促進」に貢献することに加え、「多くの人々と夢と感動をわかちあう」というジュビロの理念を実現するクラブ経営を行うことです。そのためにはチームの強化が不可欠です。
西尾 ●チームの強化に必要なことは何でしょうか。
木村 ●大事なのは結束力です。ピッチで戦う選手だけでなくスタッフ、マネージャー、さらにマーケティング部門やコーポレート部門も含めたすべての部署をどう一つにするか。これができれば勝てるチームになる。また、育成の観点からジュニアユース世代からの連携も重要です。中高生の段階からジュビロのサッカーを教え込んでいくのです。
西尾 ●木村社長もサッカー選手でした。大学時代は学問とサッカーの両立に励まれたのではないかと思います。

木村 ●いや、勉強はあまりしてなかったね。試験前にはノートを借りたり(笑)。それでも授業には必ず出席した。大学に限らず、小学校から学校を休むというところがありませんでした。
西尾 ●選手引退後は営業職に。
木村 ●キツイ仕事でしたけど、今では労基法上無理ですが、当時はその日のうちに帰れないことは普通。でもキツかったからこそ逃げなかった。もう、負けん気だけでした。
西尾 ●最後は販売会社の社長にまで昇格されました。
木村 ●私より販売に長けた人、営業トークのうまい人はたくさんいた。あえて言えば、当たり前のことを当たり前にしてきただけなんです。
西尾 ●大学時代におくべきことは何だと思われますか。
木村 ●ビジネスでもスポーツでも組織



▲大学時代の木村隼氏

取材を終えて

「キツイからこそ逃げない。人生の選択肢があれば必ずつらい方を選ぶ」という考え方を聞き、私自身ももっとやれる、頑張ろうという気持ちになりました。また「当たり前」の事を当たり前にする」という難しさと大切さを学びました。木村社長はとてもハートが強く、その強さ、素直さに多くの人が惹きつけられて今があるのではないのでしょうか。

社会学部 社会学科2年 西尾 紗希さん

でやるからには協調性がないと通用しません。他者の話に真剣に耳を傾ける態度を養っておくといひでしょう。
西尾 ●今後の目標を教えてください。
木村 ●J1残留は最低限として、前身のヤマハ発動機サッカー部創設時から掲げる「常に日本アジアでトップを狙う」チームの基盤づくりを3年間でやり遂げたいと考えています。過去の栄光は忘れてジュビロを強くする。それが私の最も重要な仕事です。



▲ジュビロ磐田新体制発表記者会見(2016年1月)



VOL 3



株式会社ジュビロ代表取締役社長 木村 稔氏 第8期卒業生

Profile | 木村 稔氏
1954年大阪府生まれ。追手門学院小学校(78期生)、追手門学院中学校(1期生)・高校(21期生)を経て追手門学院大学経済学部入学。1977年卒業と同時にヤマハ発動機株式会社へ選手として入社。同社サッカー部でプレーするもケガにより引退。以降は営業職として活躍。2007年ヤマハ発動機販売株式会社取締役役に就任し、2010年常務取締役、2011年代表取締役社長を歴任。2015年より現職。
[Interview: 西尾 紗希/古賀 千晴]

SPECIAL FEATURE

自分史上想像以上のチカラをその手に。

社会で求められる力を養う次世代型の授業 | ▶笑学入門 ▶追手井[経営学部 村上喜都ゼミ] ▶男女共同参画 キャリア形成プログラム

連載: 社会へのBridge [卒業生×在学生]

Vol.03 | 木村 稔氏 [株式会社ジュビロ 代表取締役社長]

連載: 「想像もしなかった自分史」を始めた学生の肖像

Vol.04 | 経済学部 経済学科 3年 古川 十豊さん



その場ですぐに結果がわかる Bridge アンケートに答えよう!

アンケートの結果がその場で見られるので、みんなの気持ちがよくわかる! 今回はお気に入りのファッション、E-CO、就活についての設問です。ぜひお答えください。

- #### ●学生企画広報スタッフ
- 福田 菜摘 [経営学部3年]
 - 児玉 咲紀 [経営学部3年]
 - 伊藤 大河 [国際教養学部3年]
 - 古賀 千晴 [心理学部2年]
 - 西尾 紗希 [社会学部2年]
 - 向井 雅駿 [経営学部2年]
 - 東田 萌希 [心理学部2年]
 - 松浦 莉紗子 [社会学部2年]
 - 竹内 淳 [社会学部2年]
 - 福嶋 なつみ [経営学部2年]
 - 藤澤 杏 [経営学部2年]
 - 中嶋 いずみ [経営学部2年]

編集後記

私が学生企画広報スタッフに入ろうと思ったきっかけは、UI論の授業でこの団体のプレゼンに惹かれたからです。実際にプレゼン制作に関わり始めてからは、自身で撮影をしたり、取材や誌面構成、デザインなど、雑誌制作の仕組みを知ることができ、毎回楽しく参加できています。そして、なにより、一緒に頑張る仲間ができたことが嬉しかったです。これらの経験は、必ず社会に役立ちたいと思ふ、自分なりの学生企画広報スタッフに入りたいと思ったと思っています。

〈学生企画広報スタッフ: 向井 雅駿〉

「BRIDGE」制作メンバー[学生企画広報スタッフ]1・2年生 大募集中!

当マガジン「BRIDGE」を一緒に作ってませんか? 興味のある人は気軽に見学しに来てください!

●見学の申し込み・お問い合わせ/1号館2F 総務課 広報課[担当: 坂倉] (または下記メールアドレスにご連絡ください)

[スタッフ会議] 2206教室/毎週水曜日または木曜日/12:40~14:30頃まで(昼休み限定の参加もOK、他団体所属の学生も歓迎します)

※メールでの応募・お問い合わせはこちらまで ▶ gakuseikoho@ml.otemon.ac.jp [担当: 児玉(経営学部3年)]



QRコードからメールをお送りいただけます▶

教養ゼミ・オープンゼミ・表現コミュニケーションの優先履修について

優先履修の流れ

- 01 ポスターセッションに参加する
- 02 優先履修を希望する科目にエントリーする
- 03 担当教員が優先履修学生を選抜する
- 04 優先履修決定科目の履修登録が完了(抽選登録不要)

教養ゼミ・オープンゼミ・表現コミュニケーションは前年度に実施されるポスターセッションで授業内容が発表されます。これらの科目には「優先履修」制度があり、ポスターで優先履修の条件が示されます。優先履修を希望する科目にエントリーし、条件を満たしていると担当教員が判断した場合、優先履修が認められます。

大学におけるキャリア教育のニーズは年々高まりを見せ、多くの大学でインターンシップなどが盛んに行われている。しかしそれはあくまで課外活動的な枠組みでの実施である。追手門学院大学はそこを大きく変えていく。大学教育は「専門教育」と「教養教育」の二軸だが、そこに第3の柱として「キャリア教育」を加える教学改革を推進。下図のような三本柱の構成とする。

三本柱それぞれの位置づけを確認しておく。「専門教育」は専門知識を体系的に学び研究に発展させる、大学教育の核である。座学だけでなく演習を導入し、学部によっては企業や自治体との連携も進んでいる。「教養教育」は特定の知識ではなく、人間理解からコミュニケーション能力向上の手がかりまで、人間的な成長の助けとなる学問に広く触れる機会だ。



専門知識と教養を身につけた社会人の養成が大学の責務



卒業後のキャリアを据えながらの大学生活を実現する

日本の大学は長年専門人もしくは教養人の育成という機能を担う一方、社会人を育てる意識は低かった。この教学改革を通じて、「専門知識と教養を身につけた社会人の育成を大学の責務と捉え直し、他大学に先駆けて時代に即した大学教育を実践していく。」

今回新しく柱に据えられた「キャリア教育」は、専門と教養で身につけた知識と実社会との関連を理解したり、進路を思索するきっかけを得たりするための科目群。知識を増やすタイプの勉強とは異なる。ポイントは卒業後のキャリアを見据えた学習に発展させられるかどうか。キャリア教育での気づきをもとに、専門や教養の学びを見直すことができれば、前向きで楽しい大学生活につながるはずである。



SPECIAL FEATURE

大学創立100年へ向けた新たな教育創造を

「自分史上、想像以上」のチカラをその手に。

特集

社会で求められる力を養う次世代型の授業

大学教育には「専門教育」と「教養教育」の要素がある。追手門学院大学は、そんな従来の枠組みにメスを入れ、「専門教育」「教養教育」に「キャリア教育」を組み入れた三本柱で教育システムを構成する教学改革を実行。他大学に先駆けた大学教育を実践する。この改革によって、専門人や教養人だけではなく「社会人の育成」という切り口が明確に加わることになる。

[interview : 福田 菜摘 / 児玉 咲紀 / 伊藤 大河 / 古賀 千晴 / 西尾 紗希 / 向井 雅駿 / 松浦 莉紗子 / 福嶋 なつみ]



Bridgeアンケート

その場で結果がわかるアンケートに答えよう!

Q1 面白いと思う授業の形式を教えてください

Check!



総合科目群
追大UI科目

笑学入門

身につくのは？

笑いの本質を知り
コミュニケーションを
円滑にする力

進展するグローバル社会を生き抜く コミュニケーション力や自己表現力を養う

さまざまな教学改革を進める追手門学院大学。国際教養学部「アジア学科」が2017年度より国際日本学科に名称変更するなど、「国際化」「グローバル化」は改革の重要なキーワードである。

グローバル化が進化する社会では、コミュニケーション力や自己表現力が一層重視される。そのノウハウを磨く方法論として「笑いへの理解や「ユーモア」の心を備えることは非常に有効だ。

2016年度に開講した「笑学入門」では、笑いにかかわる文化や芸能に触れたり、笑いやユーモアのしくみを学術的に分析したりすることを通じて、グローバル時代にふさわしい高度なコミュニケーション力を育成している。



作業の結果を見せ合うことを促す。「仕事は一人で完結させないこと。いま必要なのは“協働力”です」

履修希望者が多数 笑いへの関心の高さを うかがわせる

「笑学入門」は開講1年目の授業。笑いとは、多数者の関心事なのだろうか。新規授業にもかかわらず履修登録希望者が定員を大幅に超え、多くの学生が選外となった。

全15回の講義は笑学研究所の監修、コーディネートによるオムニバス形式で進められる。講師は坂井東洋男学長、井上宏笑学研究所特別顧問(前所長)、所員、放送作家、漫才作家、落語作家、落語家などの多彩なラインナップだ。MBS元アナウンサー室長の高垣伸博社会学部教授が毎回の授業に立ち会い、自ら講義も行う。受講者たちは、幅広い分野で高い業績を誇る講師陣のもと、笑いを学術的に考察する。

ドジ体験の思わぬ効果？ 折れ線グラフを つくってみよう

第8回の講義を担当したのは、大阪府立金岡高等学校校

長で元放送作家の和栗隆史氏(写真)。授業の一部を紹介すると「自分史漫才ドジリング」というワークでは、縦軸をハッピー度、横軸を時間軸(年齢とする折れ線グラフを作成。人生の浮き沈みを思いながら上に下に線を引いた。

「なぜドジリングという名称か。人にウケるのは自慢話ではなく、ドジな話だから。自分を落として笑いを取るのは関西人の得意技ですね」と和栗氏。自分の弱みが、笑いやコミュニケーションを発展させるのである。続いては笑いの構造分析に挑戦。コント映像を視聴し、笑いの仕掛けがあると思う部分をピンポイントで。自分の笑い所を知られば自己分析も成立するというから、笑いは自己発見のきっかけにもなる。

この授業には一般解答は存在しない。和栗氏は「笑いの授業だが目的は正解のない課題を皆で考えること」と語る。笑いには、さまざまな人間関係のつながりが潜んでいるようだ。「笑学入門」の今後に注目したい。

この授業には一般解答は存在しない。和栗氏は「笑いの授業だが目的は正解のない課題を皆で考えること」と語る。笑いには、さまざまな人間関係のつながりが潜んでいるようだ。「笑学入門」の今後に注目したい。

一般的なインプット主体の授業とは違って、アウトプットも交えて笑いを学べます。講義ごとに先生が変わることで毎回新鮮な気持ちになり、集中して受講できます。

国際教養学部 国際教養学科 2年
山岸 勇大さん

この授業に参加している学生は皆さん個性的で、外部から一般の聴講生も来られていて、笑いの基本である人間観察にはもってこい。いつも刺激ももらっています。

経営学部 マーケティング学科 4年
播本 静也さん



人間関係をはじめ 笑いは誰にでも関係あるテーマ

笑いは、人との距離を縮めるのに役立ちます。場合によっては笑うことがエチケットにもなるなど、人間関係と笑いは関連深いものです。また、ユーモアのセンスは自己表現の幅を広げ、人前で話す技能にも発展するでしょう。こうして笑いの核心部分を考えると、誰にでも関係あるテーマへと広がります。この授業を通じて、できれば「創造性」を高めるところまで到達してほしいと思っています。



笑学研究所長
高垣 伸博 教授
社会学部 社会学科

学科専門科目
専門ゼミ

追手舟

おう て どん

経営学部
村上喜郁ゼミ

身につくのは？

身につけた知識を
ビジネスの現場で
適用する力

地元卸売市場と連携しオリジナル丼づくりに挑む 先輩を超えるぞ！「4代目 追手舟」

さまざまなPBL課題解決型学習型授業を展開している経営学部。村上ゼミでは、大阪府中央卸売市場(淡木市宮島)と連携し、若者の魚離れ・野菜不足の解消を図る「追手舟」の開発に取り組んできた。今年度で4代目となる追手舟。今回のテーマは丼ものの起源と言われる室町時代の料理「若飯(ほうはん)」の現代版。めざまし先輩を超える丼づくりだ。



料理学校に通って
技術を磨きながら
おいしさを追究

経営学部 マーケティング学科 3年
西岡 輝さん

レシピ開発を担当しています。芳飯という昔の料理をどうやって現代人の口に合わせるかが鍵。技術も必要なため、調理学校に通ってレシピに磨きをかけています。おいしいものを作ることは前提ですが、自分のしたいことだけに走るのではなく、大阪府中央卸売市場の要望にしっかりお応えする経営学的視点を忘れないよう心掛けています。



リーダーを務めて
自分に足りないものを
改めて実感した

経営学部 マーケティング学科 3年
小川 奈穂さん

リーダーを務めています。大阪府中央卸売市場からの要件を踏まえて、テーマ設定、具材の選定、味付けの方向性などすべての作業が適切に進むようにとりまわります。本来私は自分で作業をしてしまうタイプの人間で、改めてメンバーに指示を送る能力がないことを実感。でも、こうして自分に欠けている力を発見できるのもPBLの成果です。



いかに組織力を
発揮させるかも
経営学のテーマ

経営学部 経営学科 3年
杉坂 隼一さん

僕の役割はいわば現場監督で、各現場におけるトラブル対応が仕事です。経営は「ト・

モノ・カネ・情報が資源ですが、この活動はとりわけヒトがきちんと機能することがポイント。個人には限界があります。しかし、協力しあうことで限界を超えている組織力を発揮していきたいと思っています。チームワークの力で歴代最高の丼を開発します。



経営学はビジネスの現場 で使えてこそ意味がある

経営学は実践の学問。試験の点数がよくても現場で生かせなければ意味がありません。ビジネスに携わっている方々と一緒に活動することで、普段の学習成果を確認するとともに、社会貢献という要素も意識して、大阪府中央卸売市場さんのニーズに応えてほしいと考えています。現場体験を通じて、経営学が実際に使える学問であること知れば、学習のモチベーションもいっそう高まるはずですよ。



村上 喜郁 准教授
経営学部 経営学科

総合科目群
オープンゼミ

男女共同参画 キャリア形成プログラム

実社会で働く人や企業との関わりの中で、キャリア形成のきっかけをつかむ

この授業では、男女に関係なく納得度の高い職業選択と、その継続を実現する手がかりを考察している。そのために、多彩な業界からのゲスト講師のキャリアに触れたり、企業とともに実際の課題解決に挑戦するアフィリエイトマーケティングに挑戦。社会に触れる学びは、学生各自のキャリア形成力育成につながっている。



講義終了後はちょっと長めの質疑応答の時間。「仕事のこだわりは何ですか？」など盛んに質問が飛んだ。

教員の
視点から



いい会社には、ではなく
自分に合った働き方を
切り拓いてほしい

地域創生部 成熟社会研究所長
佐藤 友美子 教授

「成熟社会」の働き方について考えてきました。これからの社会では従来の男女の役割分担や、働くか辞めるかの二者択一ではなく、多様な選択肢の中から自らの生き方、働き方を選び取っていくことが必要です。このプログラムでは、具体的な就職活動始める前に、まずは変化する社会に目を向け、多様な働き方があることを知って欲しいと思っています。身近な大人や、様々な立場で仕事をしている人に話を聞き、働くことの意味や仕事とは何かを考えます。仕事に対する長期的な視点を持ち、社会で生き抜く確かな力を付けるべき目標としています。

講師
(卒業生)
の視点から



自ら行動を起こすと
思いがけない
展開が待っている

株式会社ヒューマンリソース代表取締役
1991年経済学部卒業
土谷 尚子 講師

「ワーキングマザーのライフスタイル」というテーマで、大卒から就職、転職、結婚、出産を経て現在に至るまで、私の働き方について講義をさせていただきました。住みやすいという未経験の分野に飛び込んで、信用を得るため次々に資格を取得したことや、さまざまな人との出会いが思いがけない仕事に発展していったことなどをお話ししました。一番感じ取ってほしいのは、自ら行動を起こすことの大切さ。例えば私自身母校で講義をするなんて、想像すらしなかったこと。すべては行動の結果なのです。

在学生
の視点から



ただ働くだけではなく
働き方までイメージ
するようになった

国際教養学部 2年 学生
開田 明日香 さん

卒業後はただ就職するとして考えていませんでしたが、このプログラムに参加して、例えば女性の場合産休を活用することで家庭と仕事の両立が図れるといった働き方をイメージできるようになりました。また、幅広い業界から講師が来られるので、進路選びの参考にもなります。

身につくのは?

自分らしい
働き方、生き方を
見つける力

世界的な部品メーカーに
女子学生の採用を
増やす方法を提案

2016年8月22日から
9月9日までの約3週間にわたり、中西金属工業株式会社（大阪市北区）との共同ワークショッププログラムを開催。男女共同参画キャリア形成プログラムの受講生も多数参加した。これは企業が抱える課題解決に向けてアイデアを直接提案する取り組みで、同社からの要望は「女子学生の採用を増やすアプローチ」だった。最終日には、SNSを利用した広報戦略や、飲料メーカーとのタイアップなどの企画を提案。学生らしい柔軟な発想力が大いに発揮された。



▲プレゼンテーションの様子

※最終日の白熱したプレゼンなど、活動の様子は日経BP社の「日経WOMANオンライン」で報じられた。

硬式野球部



経済学部 経済学科 3年
西田 航 さん

主務をしていて大変なことは?

選手と兼任なので両立が大変です。アルバイトもしていますから自分の時間がありません。部員が約100人もいますので、連絡だけでもかなりの作業になります。

やりがいを感じることは?

他大学の野球部員や主務と交流ができ、友達が増えること。また、選手たちが主務の大変さをわかってくれて、よく「ありがとう」と声をかけてくれます。

今後の目標は?

2015年の阪神大学野球秋季リーグ戦2部リーグで優勝し、29年ぶりの1部リーグ昇格を果たしたので、今後の目標は1部での優勝! 神宮をめざします。

男子ラクロス部



心理学部 心理学科 2年
重村 菜穂子 さん

マネージャーをしていて大変なことは?

OBへの連絡、グラウンドの割り当て、練習メニューの組立など仕事量が多いことです。練習中は常に屋外にいますが、自分の水分補給も忘れるほどの多忙さです。

やりがいを感じるときは?

ラクロスは大学から始める人が大半。最初パスだけの練習をしていた部員がシュートを決めたり、後輩を教えたりなど、選手との成長に立ち会えることです。

今後の目標は?

チーム全体が大きな壁にぶつかった時期があったのですが、それを逆にバネにすることで、心機一転これからも頑張っていきたいです。目標は2部復活! 自分たちの代で成し遂げたいです。

様々な場所で活躍する追大生を突撃インタビュー!

追大生にスポットライト

Vol.1【マネージャー編】

interview & text & Photo : 児玉 咲紀/福岡 なつみ/藤澤 杏 題字 : 福岡 なつみ

アメリカンフットボール部



心理学部 心理学科 2年
鵜飼 明日香 さん

マネージャーをしていて大変なことは?

リーグ戦が始まると試合が頻繁にあり、夏には缶詰宿泊と年中忙しいこと。試合での関係者の受付や活動風景のビデオ撮影など、仕事も多く人手が足りません。

やりがいを感じるときは?

仕事を終えたときに「ありがとう」と言ってもらえること。また、試合で勝ってくれたとき選手たちと一緒に喜ぶことです。みんな仲がよく楽しいですよ。

今後の目標は?

1部リーグ昇格をめざしています。そのためには完璧に仕事をこなせるようになり、1部チームのマネージャーとしての仕事ができるように備えたいと思います。

女子バレーボール部



経営学部 マーケティング学科 2年
谷川 美樹 さん

マネージャーをしていて大変なことは?

選手にボールを渡すときでもタイミングを考えて差し出すなど、常に選手中心の行動をしないとダメです。夏場はお茶がすぐなくなり、補給回数が多く大変です。

マネージャーを続ける理由は?

つらいこともありますが、メンバーがみんな優しく、楽しいと感じることの方が多いからです。部活のメンバーとはプライベートでもすぐ仲良しです。

チームの特徴は?

先輩、後輩に関係なく言いたいことが言える仲の良いチームです。プライベートでは一緒にしゃべりますが、部活中は真剣モードに切り替わるメリハリのよさも特徴です。



グローバルキャンパスをのぞいてみよう!!

[Interview : 東田 萌希 | Photo : 向井 雅駿] [企画・構成 : E-CO-to Staff (清水 佳奈/長尾 光/古田 卓也/長谷川 真子/吉田 茜)]

まだ利用していない人は
パーティーに参加してみよう!

国際教養学部 国際教養学科 2年
森川 佳苗 さん

E-COは最初先生の指示で利用したのですが、今では多いときで週4回も訪れています。E-COにはレベルに応じた様々なサービスがあり、私はリスニング力が伸びたと実感しています。まだE-COに行ったことのない人は、パーティーへの参加をきっかけにするのもいいと思います。外国の雰囲気も味わえるし、スタッフの方との距離も縮まりますよ。



①サマーパーティーでは留学生と一緒にサリリーの着付けを体験しました。
②ドリンクやスナックを囲んでみんなで乾杯!
③お菓子をもらおう「Trick or Treat!」

開催決定!! お昼休みに誰でも自由に参加できるパーティーを開催! この機会に「E-CO」で友達を作ろう!
[ハロウィンパーティー] 10月28日(金) 12:45~13:15 | [クリスマスパティー] 12月21日(水) 12:45~13:15



3 試合開始4時間前、一旦全員で集合。ガンバ大阪からの指示を全員で確認した後、円陣を組んで気合いを入れる。



2 スタジアムを下見するスタッフ。当日の予想観客動員数から考えられる注意事項などを共有し、観客の導線を入念にチェックする。



1 集合は試合開始の約6時間前。髪型、スーツの着こなし、爪の長さなど身だしなみを詳細にチェックする。この服装は本学からの提案。(スーツ姿で接客したい)との申し出が承られた。



「日本一のおもてなし」集団
新スタジアムで活躍する
インターンシップ生

2016年2月、ガンバ大阪の新ホームスタジアム「市立吹田サッカースタジアム」が開場。それに伴い本学のインターンシップ「新スタジアム運営プロジェクト」がスタートした。本インターンシップは「J1チーム最大級のインターンシップ始動」の触れ込みで学内外に広報されたが、実際J1チームにおけるインターンシップとしては規模、業務内容ともに類例がないものになった。狙いは就業体験ではなく仕事そのものを生み出すこと。学生たちが掲げた目標は「日本一のおもてなし」と、意気込みも最大級である。



具体的な業務内容はスタジアム内の来場者のチケット確認と案内。新スタジアムは券種に関係なくどの場所にも移動できる構造になっているため、各ポイントでのチケット確認と案内が必要になる。事前に決まっていたのはこの点だけで、立ち位置、案内の身といった業務の進め方は、インターン生たちが考案してマニュアル化した。スムーズな会場運営に貢献するのは最低限のこと。心のこもった接客という要素も重視した。また、観客と直接接点のあるポジションだけに、何かと頼られることも想定される。例えば売店やトイレの場所、売店での取扱い商品、気分が悪くなったなど。そうした質問への対応も万全に準備した。

業務は週2日程度の通年。試合日のほか、学内でのミーティングを通じて改善を繰り返して、毎試合レベルアップを図っている。だからマニュアルも常に進化中だ。ガンバ大阪の社員の目となり耳となり、問題を発見し提案につながる。そこで評価を得て、また新たな仕事に結びつける。「仕事の報酬は仕事」が本インターンシップのテーマだ。

なお、募集は随時問い合わせは「就職キャリア支援課」まで。

密着! ガンバ大阪インターンシップ



6 終了後は全員で反省会を実施。この後もデータ整理などの業務にあたるスタッフも多数いる。(写真はスタッフにねぎらいの言葉をかけるガンバ大阪の河合直輝さん)



5 試合終了後に、観客の退場を誘導するのも仕事のひとつ。収容人数4万人を誇る新スタジアムでは、全観客が退場するまでかなりの時間を要する。



4 観客の入場がはじまるとスタッフの仕事が始まる。主な業務は通路から観客席に入るお客様への案内。単なるアルバイトと違い、スタッフ皆で試行錯誤し、最適な案内方法を提案しながら業務にあたる。もちろん試合を見ることはできない。

●インターンシップに参加した学生の声

経営学部 マーケティング学科 3年
山下 理来さん

このままでは就活のアピール材料がないという危機感から参加を決めました。リーダーシップやコミュニケーション力に磨きをかけるとともに、期間が長いので、好きなことしか長続きしない気質も克服したいと思っています。スタジアムにいるときは、状況に応じてどんな言葉を使えばお客様が理解しやすいか、常に考えて案内するように努めています。



経営学部 経営学科 3年
芳野 雅さん

スポーツビジネス分野への就職をめざす私にとって、このインターンシップはお客様について学ぶ絶好の機会。個々のお客様とは短時間のかかわりですが、その中でベストな接客について皆で追究しているところです。私は毎回、正しい姿勢、挨拶の元気よさなどの具体的な課題を持って臨みます。その先には**目標である「おもてなし日本一」**があります。



経営学部 マーケティング学科 3年
森田 将史さん

具体的なスキルよりも**人間的に成長したいと考えて参加**しました。スタジアムではお客様一人ひとりに気持ちを込めて接客。チケット確認の際は一歩近づくと、迷っている様子の方にはすぐにお声がけする。常連の方には挨拶のトーンを変えるなど、工夫を怠らないようしています。まずは現在の業務を120%評価していけるよう行動し続けます。



経営学部 マーケティング学科 2年
田中 瑞希さん

担当するマニュアル班の仕事は前例もなく、これが完成という基準がありません。**試行錯誤の連続で、結果が出ず悔し涙を流した**こともありますが、それだけ私も真剣なのです。スタジアムではお客様目線の対応を心掛けています。お客様にとって、スタッフも印象に残るスタジアムにしたいと思っています。個人的には、いずれVIPの接遇もしてみたいですね。



スタッフの視点から 実際にインターンシップを目の当たりにして、最も印象に残ったのは、現場での「張り詰めた緊張感」でした。お客様の前立つ責任感。そして、学生自身の「このインターンシップを通して成長したい」という気持ちが強く伝わってきました。特に開始前に円陣を組み、かけ声をあげているスタッフを見たときは、その真摯な姿勢に心をうたれるものがありました。

J1チーム史上最大級の インターンシップに

[interview : 児玉 咲紀 / 伊藤 大河]



キミも参加してみないか?

ガンバ大阪
新スタジアム
運営プロジェクト

Bridgeアンケート
その場で結果がわかるアンケートに答えよう!
Q2 ガンバインターンシッププロジェクトを知っていましたか?

[Text: 古賀 千晴]
[Interview: 古賀 千晴/東田 明希/向井 雅賢]

井出 明 准教授
経営学部 マーケティング学科
Akira Iide

ダークツーリズムが突きつける現代の課題とは



1995年京都大学卒業。同大学院で修士号・博士号を取得。ダークツーリズム研究の第一人者として、国内外で活躍中。地域の悲しみの記憶の継承と悔みや祈りをともに捧げるための方法論を情報学の視点から研究している。2013年には、共著で「チェルノブイリダークツーリズムガイド」(福島第一原発観光地化計画)などを出版。ダークツーリズムについて広く発信している。

「被災地に観光旅行」は不謹慎？
ダークツーリズムとは、戦争跡地や震災被害地など「人類の悲劇」の地を観光することを指し、20年ほど前からヨーロッパで盛んに研究されている。ダークツーリズムは、物事を「正」と「影」の両面から捉え、あたらしいものの見方をうながしてくれる。

代表的なダークツーリズムの地として、ナチスの強制収容所やアフリカの奴隷貿易港などが挙げられる。修学旅行で、広島県原爆ドームなどへ足を運んだこともダークツーリズムだ。東日本大震災の被災地や福島第一原発などを観光地化するという提案も存在する。

日本のダークツーリズム研究の第一人者といえ、本学経営学部の井出明准教授であるが、最初からダークツーリズムについて研究していた訳ではない。観光や旅行といった自身の関心から、阪神・淡路大震災をきっかけに「災害復興と観光をテーマに研究を始めた。その後、今から5年前に、これからの北海道観光の在り方として、近代における悲惨な歴史を観光資源とすることを提案したところ、海外の研究者から「それはダークツーリズムと呼ばれ、現在盛ん

に研究が進められている」と教えられたそうだ。井出准教授は、ダークツーリズムを学ぶ理由について、「過去の失敗を繰り返さないため」と話す。

「公害の跡地や被災地では、起こった出来事をなかつたことにし、きれいな面だけを見せようとする傾向があります。特に日本は、過去の闇に蓋をする傾向があり、現在まで放置されてきた現状があります。過去の失敗を学ばなければ、時空を超えて、第二の悲劇が生まれるかもしれない。過去の失敗に無関心でいるのではなく、正しい知識を持つことが必要です」。

例えば、アウシュビッツ収容所のユダヤ人の大量虐殺。当初は政治犯が収容されていたという事実があった。ポーランド国内のユダヤ人たちは、まさか自分たちが同じ目に合う日が来るという意識は、あまり強くは持っていなかったようである。自分たちには直接の関係がないと思ってしまう、大きな関心を払わなかつたことが、最終的に悲劇を拡大してしまつた。

ダークツーリズムを学ぶこともこれと同じである。事実から目を背けず、過去の闇を知り、物事の本質を見抜く力を身に付けることが重要なのである。

ネット社会だからこそ 生身の体験が意味を持つ

では、どうやってダークツーリズムについて学べばよいのだろうか。井出准教授は、実際に現地に足を運ぶことを強く勧める。

「現地に行かないと分からないことは多い。映像や文章では表現できないものも、実際に見ることで心に迫ってきます。私たちは普段、ネットなどで、自分にとって都合のいい情報のみを選び取るものが出来ませんが、現地では多様な情報が有無を言わずに自分の中に入ってきます。



アウシュビッツ強制収容所入り口



2015年に発生したバリの同時多発テロの現場付近

たとえ、自分が自分にとって不都合なノイズだとしても、シャットアウトすることは出来ないのです。現地を歩いて感じるもの、その場の空気、そこで考えたことを大切にしたいですね」。

それでも、現地へ足を運ぶことに抵抗を感じる学生はいらぬだろう。そんな学生に対して先生は、「生身の身体で現地を知ることが大きな意味を持っています。それに、負の遺産のみを見るのではなく、その周辺で観光や美味しい食べ物を楽しみそこで生活している人に会うことで、その地域についてより深く知ることが出来るでしょ。現地向かう私たちが「旅人」なのだから、気負う必要はない。負の遺産やそれらに関する闇について考えるのは、帰ってきてからでも遅くはないとアドバイスした。

自分の肌で感じたことは、きっと心を大きく動かす。それが、これからの糧になっていくことは間違いない。

ダークツーリズムは、新しい観光の可能性を考える上でも、非常に重要な分野であり、これからの発展に大きな期待が寄せられている。この一端に触れてみることは、きっと、自分を大きく変えるチャンスになるだろう。

生身の体験が意味を持つ

今回の取材で、初めダークツーリズムというのを知りました。自分にとって都合のいいことしか知ろうとしない私たちにこそ、ダークツーリズムの見方は衝撃的でした。現地に足を運ぶ意義を強く感じさせられた内容で自分に出来ることから始めようと思いました。(古賀千晴)

自己史上、想像以上!

「想像もしなかつた自分史」を始めた学生の肖像
Vol.04
[Interview: 西尾 紗希/児玉 咲紀]

サッカーのよろこびを ネパールの子らと共に



経済学部 経済学科 3年
Shuto Furukawa
古川 十豊さん

多くの人の出会いと共に古川さんの活動は広がってきた。迫大の教職員。同志であり現地コーディネーターでもあるネパールのガネッシュさん。ネパール支援団体SPEC Japan代表の古川雄介さん。2015年4月25日のネパール大地震の支援募金では、活動に賛同した茨木市の義援金を茨木市長から託され、スシル・コイラ首相(当時)に面会、直接目録を手渡した。

まさか自分がネパールに行くなんて。それが今では「行く」ではなく「帰る」と表現するほど大切な場所になった。今年3月には首都カトマンズ近郊の4つの学校にサッカー部を設立。4月に支援団体「ネパール子どもクラブ」を独力で立ち上げ、来年夏には現地でサッカーの全国大会を開催しようという奮闘中だ。今の活動をはじめたのは、1年次の夏、教育視察で迫大を訪れたネパールの文部大臣と直接話す機会に恵まれたのがきっかけだ。「教育面はどうですか」「圧倒的に足りない」。短い会話だったが、もともと義侠心のあつた古川さんに火をつけるには充分だった。先生方のサポートを受け、志あるネパール人にも協力を得て、半年後には彼の地に飛んでいた。



古川さんは3歳から18歳までサッカー選手としてフィールドを駆けていた。強豪・大阪市立桜宮高校サッカー部で副キャプテンまで務めたが、大学入学後は競技を離れた。そんな古川さんに、今の世の中でおかしいと思うことは?と尋ねると「消費社会」という答え。競技スポーツから国際交流への転身は、弱肉強食の欲望社会への異議申し立てでもあるのかもしれない。

憤りと悲しさに襲われた。「でも、孤児院の子とサッカーをしたんですよ。すると、すごくいい笑顔になった。グラウンドはポコポコで、靴も十分にならないからよくサンダル。裸足の子もいる。でもとても楽しそうでした」。

心に火種をもらつて帰国した直後、大地震がネパールを襲う。4カ月後には復興支援のため再び現地へ。こうした経験を通じて、「大好きなサッカーでネパールの子ども達を笑顔にしたい」との思いは強まり、夢中で走りつづけて現在に至る。

次は全国規模に展開。その先の社会変革につながることを願って

二国間での活動が続けるなかで、古川さん自身の意識も変化してきた。

「最初は何もかもが足りないと感じたし、貧困やインフラの不足が不幸なこと」に思えました。でも、彼らはエレレストに代表される偉大な自然のなかで生きていくことに誇りを持ち、自分たちの属する土地や文化を愛しています。ばくら日本人とどうちが幸せなんでしょうね」。

めざしたいのは、与える支援ではなく、ただ「共にある」寄り添い方。それがこの先の社会を少しでもよくする原動力になればと、熱く静かに願う。そのためネパールでの活動を全国規模に展開していく。

森本 悠介さん
YUSUKE MORIMOTO

ページの設定アップに白のTシャツを合わせました。差し色の赤いバンダナを取り入れてカジュアルに見せつつも、ローファーで落ち着いた秋コーデです。シンプルな服が多いので、普段から小物で色味を効かせるようにしています。今回はバンダナを巻いてみました。ページほかに、秋色としてはキャメル色なんかもいいですね。



赤のバンダナを使った秋コーデです

バンダナはこうして首に巻くほか、腰に掛けたり、カバンに付けたり多彩な使い方ができて便利です。

中嶋 いずみさん
IZUMI NAKAJIMA

テーマは大人シック。全体的に落ち着いた色でまとめると同時に、タイトスカートで大人っぽい雰囲気になりました。ポイントはまず黒の靴。黒を効かせることで全体が締まって見えると思いました。それと赤いスカート。少しくすんだ感じの赤で、秋らしさが出てきて気に入っています。普段から気をつけていることは、やはり色のバランスですね。



シックで大人な感じがしませんか？

シャツには秋色が3つ入っています。基本は派手好き。よく利用する洋服店はグラニフとネ・ネットです。

秋色で好きな色は赤。赤はコーディネートしやすいですから。今回はオレンジにも挑戦したいですね。

木佐 凌一朗さん
RYOICHIRO KISA

秋色である赤、黄色、オレンジが入っている服を選択。シャツが総柄なので、下はおとなしいスキニーにしています。派手な柄が好きなのでカラフルな服、例えるなら親戚の集まりに着ていくと親に怒られそうなものをよく選んでいます。今回は飛行機柄のシャツですけど、動物やマスケット柄の服も持っています。マスコットがあると楽しく映りますね。



カラフル好きの僕は総柄シャツで

ロック系ファッションといえばDr.Martensのシューズ。チェリーレッドが好きなので買ってしまいました。

萬谷 優紀さん
YUKI MANTANI

秋ということでデニムをメインにコーディネート。ポイントはデニムの裾を太めに折ってDr.Martens(ドクターマーチン)の靴と合わせているところです。このチェリーレッドは原宿で購入しましたが、普段は京都・三条の古着屋などをよく利用します。私は服を決めるとき、例えばロック系のスタッズといった、差し色の小物から考えていくという方法をとります。



ポイントは裾の折り方とシューズです

谷口 伊織さん
IORI TANIGUCHI

ナチュラルな着こなしをしつつも、色が映えるように考えました。ポイントは黄色のカーディガン。黄色を際立たせるために、全体の色を抑え目にしていきます。洋服を着るとき気になっているのは、サイズ感を整えてシルエットをきれいにさせること。それと合わせるカバンです。今回は黄色メインですが、秋色としては赤もいいですね。次回着てみます。



全体を抑えて黄色を引き立たせた

このカーディガン、先輩からの頂き物なんです。どうやって工夫して着るか、考えるのが楽しいです。

東田 彩希さん
SAKI TOUDA

ファッションのテーマは“Sweet×Hard”。Sweetな感じはスカートで、Hardさは全体の色合いで出してみました。赤いスカートはラインと縦についているフリルが気に入っています。コーディネートのポイントはスカートの赤とタイトの黄色のコントラスト。私はいつも色合いを意識しながらコーディネートします。自分に似合う色は、やっぱり赤かな。



赤と黄色のコントラストがいいでしょう

タイトの黄色が効いているでしょう。スカートの赤と、カラー×カラーの掛け合わせに挑戦してみました。

才木 里香さん
RIKA SAIKI

紫色のストールをポイントに、秋らしく落ち着いたシック系の色で固めてみました。赤のジャケットは友達と買物に行ったとき、手にとって合わせていたら「いいね!」と言ってくれたので買っちゃいました。かっこいい赤で気に入っています。私の場合決まった洋服店はなく、その時々で自分に合うと思ったものを購入しています。



シック系の色で落ち着いた演出

このストールは色々なコーディネートで合わせやすいから、幅広く活躍してくれます!

ポイントとして機能するのはユニクロの赤いカーディガン。大人っぽい感じを出しています。

伊藤 大河さん
TAIGA ITOU

ジャケットとジーンズを基調に大人っぽい雰囲気を出すようにしました。全体のなかでポイントは赤のカーディガン。明るくて目立つうえに大人っぽさも出せると思いました。カジュアル感もコーディネートポイント。大学生らしいお手頃な服装でまとめています。ちなみによく利用するお店は、ライトオンとレイジーブルーです。



大人っぽい雰囲気ですまとめてみた

OTEMON COLLECTION

VOL.3

テーマは 秋の色

秋の着こなしをテーマに 追大生のファッションをチェック! 人気の秋色は、やっぱり赤?

読書の秋、食欲の秋、そしてファッションの秋。
現役追手門の学生たちが今秋一押しのファッションを見せてくれました。

[interview & text : 福田 菜摘 / 西尾 紗希 | Photo : 向井 雅駿]

Bridgeアンケート
その場で結果がわかるアンケートに答えよう!

Check!

Q3 気になったコーデはどれ?

OTEMON NEWS& TOPICS

[ニュース&トピックス]

Topics

国際教養学部アジア学科を「国際日本学科」に名称変更

2016年国際教養学部英語コミュニケーション学科を国際教養学科へ名称変更したのに続き、17年4月国際教養学部アジア学科を国際日本学科に改称。国際社会における日本を旨とする学科の性格が一層明確になる。これを機に「アニメ文化論」中国から見た日本「日本の伝統文化を発信する」など6科目を新設する。

茨木市に駅チカの新キャンパス用地を確保

学校法人追手門学院は、東芝大阪工場跡地(茨木市)を大学および中・高等学校の新キャンパス予定地として取得。東芝側と合意書を締結した。敷地面積はおよそ2万坪。大学は現キャンパスから一部学部を移して2キャンパス化に。中・高等学校は全面移転する。開学は2019年を目標としている。



| 新キャンパス予定地の概要 | |
|--------------|----------------------------------------------|
| ■住所 | 大阪府茨木市太田東芝町の一部 |
| ■面積 | 64,400㎡ |
| ■活用予定 | 追手門学院大学の2キャンパス化による機能拡充 追手門学院中・高等学校の全機能の移転 |
| ■開学目標 | 2019年4月開学を目標 |

場所は18年春開業予定の新駅「(仮称)JR総持寺」駅から徒歩約12分の立地。現キャンパスからも約2キロと至近距離にあり、2つのキャンパスを結ぶことで新たな教育展開を図るとともに、利便性の高い立地を生かして国内外から多彩な人材を呼び込み、多様性のある教育研究の場を構築する計画だ。

Topics

エコボランティア活動がおおさか環境賞(奨励賞)受賞

水野浩児(経営学部)ゼミのエコボランティア活動が大阪府のおおさか環境賞の「奨励賞」を8月29日(月)に受賞。授賞式は大阪府庁にて行われ、水野教授と学生12名が出席した。代表で表彰を受けた板倉裕さん(経営学部3年)は「先輩から受け継いでの継続的な活動が認められ、光栄です。今後、よりエコについての意識と活動の質を高め、次の代へ繋げていきたいと思います」と語った。



Topics

リオ五輪メダリストの凱旋報告会を開催!

9月14日、リオ五輪シクロクロチーム競技で銅メダルに輝いた日本代表のメンバーである卒業生吉田胡桃さん(国際教養学部2014年卒)と中牧佳南さん(同学部15年卒)が母校に凱旋し、メダル獲得の報告会を開催した。福岡洋一茨木市長も駆けつけ、教職員学生など約100名が参加し、2人のメダル獲得を盛大に祝った。吉田選手はロンドンに続く2回目の五輪で、中牧選手は初出場だった。



Sports

Topics

50周年記念式典・祝賀会を開催

5月29日グラフロント大阪ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンターにおいて「大学創立50周年記念式典」を挙げる。続いて7月2日「大学創立50周年記念祝賀会」をリーガロイヤルホテルで開催した。来場者数はともに1200名を超える盛会ぶり、大学のさらなる飛躍を感じさせる式典および祝賀会であった。



Topics

「心理学の追手門」にドクターコース誕生

2017年4月「心理学研究科博士後期課程」を開設する(設置認可申請中)。研究対象は「認知・脳科学領域」「社会心理学・集団力学領域」「発達心理学・発達支援領域」の3領域。教員には全員が博士の学位をもつ第一線の研究者が揃う。本学心理学研究科博士前期課程(現・修士課程)および他大学からの進学者を受け入れる。

Topics

大学応援団を結成 昔ながらの学ラン姿でエール

2016年6月に新設されたリーダー部と既存のチアリーダー部、吹奏楽団が一体となり追手門学院大学応援団を結成した。初仕事は7月の大学創立50周年祝賀会。今後スポーツの応援などを中心に活動する。

Topics

グッズコンテスト、最優秀賞は経営学部のチーム

第3回「追手門グッズコンテスト」を実施し、「グッズアイデア発表会(2次審査)」の結果「チーム社長夫人(延原由夏さん・樹知世さん・経営学部3年)の「カバン、かかれるもん(バッグハンガー)」が最優秀賞を受賞。また、現在「第7回追手門ビジネスプランコンテスト」の応募受付中。応募期間は11月8日まで。



最優秀賞 チーム社長夫人
延原 由夏さん(左) [経営学部 3年生]
樹 知世さん(右) [経営学部 3年生]

第50回 追手門学院大学 将軍山祭

テーマ「50ing!(ゴーイング!)」

- ▶ 11月5日(土)
 - 【ゲストLIVE】ACIDMAN
 - 開演=17:30 ●場所=体育館
 - チケット1枚=1,500円 ※チケットぴあ [Pコード: 633-683]
 - 【トークショー】志田未来
 - 開場=10:00/開演=11:00~12:00
 - 場所=6号館 優勝ホール ●チケット1枚=500円
 - ※当日10時より学内(6号館前)にて販売(先着535名様)
 - 追大杯
 - 9:30~16:10 ●場所=第一グラウンド
- ▶ 11月6日(日) ※ホームカミング・デー同日開催
 - 追笑(おわらい)LIVE~LAUGHING~in2016
 - 開演=14:30 ●場所=体育館
 - avex presents x 将軍山祭
 - ドリームダンスコンテスト
 - 場所=追大緑地ステージ
 - 【lolも来るよ!】lol - エルオーエル (14:30~)
 - SL山祭鉄道~ゴーイング号~
 - 出発地=阪急バス停「追手門学院大学前」周辺~6号館前までのスロープ(だらだら坂)
 - 体育祭[当日参加できます!]
 - 10:00~ ●場所=第一グラウンド ※雨天 学生会館
 - 【仮面ライダーエグゼイド】ショー
 - 1部=10:00~10:30 ●2部=12:30~13:00
 - 場所=体育館
 - 大学創立50周年記念大学校友会総会
 - ホームカミング・デー
 - 校友会総会=11:00~12:00 ●懇親会=12:30~14:00
 - 学部同窓会=14:15~15:15
 - クラブ同窓会=15:30~16:30

BOOK INTRODUCTION [追手門学院大学・教員の著書 (五十音順)]

| | | | | |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>経済体制の公共選択分析 奥井克美(経済学部)著 2015年4月/日本評論社</p> | <p>植民地期 朝鮮の教育資料II 小林善帆(地域創造学部)編著 2016年3月/国際日本文化研究センター</p> | <p>大乗院寺社雑事記 研究論集 第五巻 小林善帆(地域創造学部)共著 2016年4月/初屋出版</p> | <p>徳川家康 その政治と文化・芸能 小林善帆(地域創造学部)共著 2016年6月/宮原出版社</p> | <p>ドナルド・トランプ 劇画化するアメリカと世界の悪夢 佐藤伸行(経済学部)著 2016年8月/文春新書(文庫春秋)</p> |
| <p>触感の文学史 感じる読書の楽しみかた 真鍋正宏(国際教養学部)著 2016年4月/創想舎</p> | <p>身体感覚の旅 舞踏家レジーヌ・ショビノと パシフィックメルティングポット 富田大介(社会学部)編著 2016年10月/大阪大学出版</p> | <p>神山プロジェクト という可能性 ~地方創生、循環の未来について~ 信時正人(客員教授)共著 2016年8月/真光堂出版</p> | <p>京都企業 歴史と空間の産物 宮宇地俊岳(経営学部)共著 2016年5月/中央出版社</p> | <p>BALANCING WORK AND FAMILY IN A CHANGING SOCIETY THE FATHERS' PERSPECTIVE 善積京子(地域創造学部)共著 2016年3月/Palgrave Macmillan</p> |

Award

日本認知科学会フェロー
乾敏郎(心理学部)教授
日本の認知科学の発展に関してこれまでの業績と貢献が評価され日本認知科学会フェローの称号を授与された。9月18日に北海道大学にて登壇式・講演会が実施された。
授与元/日本認知科学会 (2016年6月)

日本公共政策学会 著作賞
奥井克美(経済学部)教授
書籍コーナーにて紹介している「経済体制の公共選択分析」が評価され、著作賞に選ばれた。
授与元/日本公共政策学会 (2016年6月)

人権について考えよう

チャンネル権は誰のもの

チャンネル権は誰のものでしょうか。私が子供のころは、テレビは一家に一台で、もちろんスマホもネットもないので、茶の間にあるそれを家族みんなで観たものでした。当然家族のなかで観たい番組が分かれることもあり、誰の番組を優先するかは子供たちによって結構大きな問題でした。そして、そのチャンネル権を巡って兄弟間の争いの種になることもしばしばありました。

先日、私がニュースを観ようとテレビのチャンネルを変えたところ、家族から文句が出ました。つけつけ放しだったし、誰もじっと座っていなかつたので構わないだろうと思つたのですが、どうもそうではなかつたようです。結局、私が関心のあるいくつかのニュースを観た後、家族にチャンネル権を譲ることになりました。その日は特にもめませんでした。その日は特にもめませんが、こんなときに肝心なのは、他人の興味や価値観を尊重することです。もし、すっかり自分の観たい番組が他人のそれよりも大切だという態度をとるものなら、家庭内はギクシャクし、居心地の悪いものになってしまいます。他人を尊重して初めて、自分の言いつけにも耳を傾けてもらえるのです。

しかし、このようなことは家庭内にとどまらず、現代社会においても、私たちは様々な相反する権利の中でバランスを保ちながら生きています。これらの権利の多くは人権と呼ばれます。人権は、対国家的には、国が最大限守るべきものとして明確ですが、対人的にはそう明確にはいできません。なぜなら人は皆等しく人権を持つているからです。そのような状況で、誰の権利を優先すべきかは大変難しい問題です。権利の対義語は義務です。私たちは自分の権利を主張すると同時に、他者の権利を尊重する義務を負つていきます。もし人権が目に見えたら、さつとパズルのピースのようにデコボコの形をしているでしょう。でもそのデコボコがあるからこそ、私たちは互いにしっかりと繋がれるのです。私たちが人権を身近に感じ、理解することは、さつと、より生きやすい社会を作る道標になるはずですよ。

社会学部社会学科教授 上石圭一